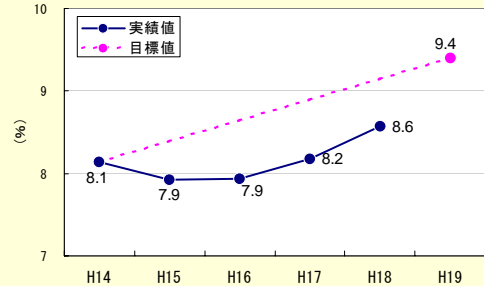


安全で快適な走行環境

安全で快適な歩行環境

地域間および港湾・空港との連携



● 指標の算出対象道路：全道路  
● 指標の算出方法：  
自動車専用道路分担率  
= 自動車専用道路の走行台キロ / 全道路の走行台キロ※  
※走行台キロ=区間ごとの交通量×区間延長 (自動車の走行量を表します)

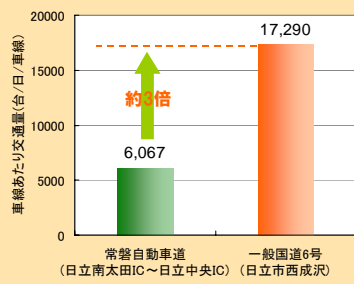
### 計画 平成18年度成果目標

- 『使えるハイウェイ』を目指して、常磐道の料金割引やスマートICといった利用のしやすさを向上する取り組みを実施します。
- 指標値の向上を目指します。

実績値H17	8.2 %
目標値H18	向上を目指す

### 現状と課題 利用のしやすさ向上と広域道路ネットワークの充実が課題

- いつも混雑している日立市内の国道6号は、車線あたり交通量で比較すると、並行する常磐自動車道の約3倍となっており、比較的すいている常磐道の利用促進が課題となっています。
- 茨城県の広域道路ネットワークは常磐道を軸に南北方向がしっかりしていますが、東西方向の連携強化が課題です。



図：高速道路と国道車線あたり交通量の比較  
出典：H17道路交通情勢調査

### 実施 平成18年度の取り組み

#### ■ 自専道の利用しやすさ向上に取り組みました

【常磐道友部SAスマートIC社会実験の本格導入】

- 友部SAより出入りが可能に(ETC車のみ)。これにより、周辺住民の利便性向上と、周辺工業団地、県立中央病院から高速道路へのアクセス性が向上しました。
- 平成18年10月に本格導入しました。



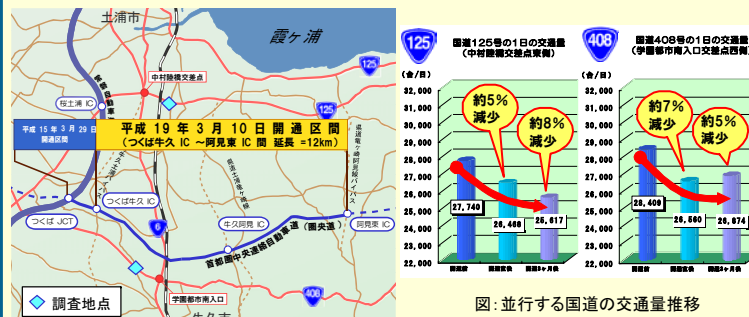
【常磐道水戸北スマートIC社会実験の開始】

- 概要：常磐道と国道123号を直接接続する、全国でも初の高速道路本線直結型のスマートICにより出入りが可能に(ETC車のみ)。
- 期間：平成18年9月25日～平成19年3月31日 (平成20年3月31日まで延長)
- 時間：24時間
- 実験開始当初の平均利用台数800台/日が、実験期間終盤には約1.5倍の1,200台/日に。
- スマートIC利用者アンケート調査によると、目的地までの所要時間が従来のIC利用よりも平均11分短縮と、大きな効果が現れました。



#### ■ 圏央道が阿見東ICまで延伸しました

- 平成19年3月10日に首都圏中央連絡自動車道(圏央道)つくば牛久IC～阿見東ICが開通し、つくば牛久IC～牛久阿見IC間の交通量は、開通直後3,980台、3ヶ月後4,219台と圏央道の利用が定着してきています。
- 並行する国道の交通量は、国道125号が約8%減少、国道408号が約5%減少しました。
- 圏央道を利用する交通量の約4割が、国道125号や国道408号等の並行路線からの転換です。
- 圏央道利用により、三郷JCTから阿見東IC近くの観光地「牛久大仏」までの所要時間が15分短縮しアクセス性が向上しました。



図：並行する国道の交通量推移

### 評価 平成18年度の達成状況

- 平成18年度は自動車専用道路の利用しやすさ向上に取り組み好評をいただきました。また、圏央道の一部区間が供用になりました。この結果、指標値が0.4ポイント向上し目標を達成しました。
- これまで、北関東自動車道や圏央道、東関東自動車道水戸線といった自動車専用道路の整備を進めていますが、未供用区間が多く広域道路ネットワーク、特に東西方向が不十分です。

目標値H18	向上を目指す (H17:8.2%)
実績値H18	8.6%
達成状況	目標達成(+0.4ポイント)

広域道路ネットワークが不十分

現在進めている事業の継続を強力に推進し、また、好評の自専道利用促進施策は定着に向け継続・発展させていきます。

反映

### 計画 平成19年度成果目標

#### ■ 平成19年度の目標

平成19年度には、下記をはじめとする道路施策・事業により、平成14年度の8.1%から、1.3ポイント(平成18年度からは0.8ポイント)の向上を目指します。

実績値H14	8.1%
実績値H18	8.6%
目標値H19	H14年度から1.3ポイント向上 H18年度から0.8ポイント向上 (9.4%)

#### ■ 自動車専用道路分担率向上に

#### 寄与する主な道路施策・事業

“自動車専用道路の利用しやすさ向上の取り組み継続・発展”

- 水戸北スマートICの社会実験期間延長  
水戸北スマートICでは、本格導入を目指し実験期間を平成20年3月31日まで延長します。
- 2地区において高速道路料金割引社会実験を実施
- 日立地区常磐道磐社会実験【継続(1年ぶり)】
- 東水戸道路社会実験【新規】

“現在進めている事業の継続”

- 北関東自動車道  
友部IC～笠間西IC  
※平成19年11月14日供用予定
- 圏央道(首都圏中央連絡自動車道)  
阿見東IC～(仮)東IC、つくばJCT～(仮)境IC  
※目標宣言プロジェクトによる  
平成20年度以降供用予定
- 東関東自動車道水戸線  
(仮)茨城町JCT～(仮)茨城町南IC  
※平成21年度供用予定

注：供用予定については東日本高速道路(株)と(独)日本高速道路保有・債務返済機構の協定による

